

平成30年6月吉日

保 護 者 様

京都府警察本部
少年課長
(公印省略)

中学生に対する「違法薬物に関するアンケート」調査の実施について（依頼）

初夏の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素より警察業務各般にわたり、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成29年中の大麻乱用少年の検挙者数は19人で、統計史上最多となった平成28年（25人）に次ぐ検挙者となりました。また、平成29年に実施した違法薬物アンケート調査において、中学生の6人に1人が「大麻はたばこよりも害が少ない。」と大麻の害を誤って認識し、このような認識を有する者ほど違法薬物を誘われた割合が高くなっているなど、中学生の違法薬物に対する認識がいまだに低い状況が認められました。

こうした現状を受け、警察としましては、学校を始めとする各関係機関と連携の上、効果的な対策を強力に推進するために、昨年度に引き続き、京都府内の中学生が違法薬物についてどのような認識を持っているのかなどの意識調査を実施し、今後の薬物乱用防止対策に活かして参りたいと考えております。

「少年に違法薬物を近づけない」社会気運を醸成し、「違法薬物から少年の未来を守る」ためにも本アンケート調査への御理解と御協力をお願い申し上げます。

なお、本アンケート調査の結果については、今後の薬物乱用防止対策、啓発活動を目的とした統計資料としてのみ活用いたします。

担当：京都府警察本部少年課
少年サポートセンター
連絡先 075-551-7801